

はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点 平成 30 年度 活動実績報告書

1. 拠点の活動内容

下記提案機関により浜松地域の特徴を活かし、異分野、他分野の融合によるハイレベルなアウトカムをめざし、「医工連携・産学連携・地域連携」を進めている。

【提案機関】

【産】浜松商工会議所（医工連携研究会）、（公財）浜松地域イノベーション推進機構

【学】浜松医科大学、光産業創成大学院大学、静岡大学

【官】静岡県、浜松市

1-1. 装置・機器の活用

当拠点に設置された機器の表

平成30年度 研究機器使用実績					
静岡県「はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点」					
機器番号	機器名称	回数（回）			設置場所
		累計	（有料）	（無料）	
1	PET/CT装置	1600	1600	0	浜松医科大学
2	ピコ秒レーザー加工システム	13	1	12	浜松工業技術支援センター
3	ファイバーレーザー加工システム	41	4	37	浜松工業技術支援センター
4	半導体レーザーシステム	4	2	2	浜松工業技術支援センター
5	試料観察顕微鏡システム	120	34	86	浜松工業技術支援センター

平成 30 年度には、JST から無償譲渡を受けたサイクロトロン、GMP ホットセル等の装置・機器を、浜松医科大学および浜松工業技術支援センターにおいて引き続き有効活用した。

PET/CT 装置、サイクロトロン、GMP ホットセル等を用いて、臨床研究対象となる 1,600 件の PET 撮影を実施した。なお、撮影した画像データを他の医用画像診断と関連づけて評価することにより、ガンの早期診断および治療経過評価のデータベースとし臨床研究を行うため、光産業創成大学院大学、浜松市内企業（㈱システムエッジ、テガラ㈱）、浜松医科大学附属病院による共同研究において「エキスパートシステム(医学用データベース)」を構築している。

新規 PET 装置（浜松ホトニクス㈱との共同研究により開発、スーパー特区課題、産学官連携推進部・サイクロトロン棟に設置）の有用性および操作性の検証は、サイクロトロン、GMP ホットセル等を活用し、浜松医科大学倫理委員会の承認を得て、ヒトでのデータ取得を引き続き行っている。手術台、无影灯等は、手術用立体内視鏡、内視鏡手術用超音波診断装置（以上、スーパー特区課題）の開発に必要なデータ取得や条件設定を行う目的で、地域企業との共同研究において活用を継続している。特に、文部科学省・地域イノベーション・エコシステム形成プログラム（H28～H32、事業費総額 1.4 億円／年）では、静岡大学、浜松市を事務局として「光の先端都市『浜松』が創成するメディカルフォトニクスの新技術」をテーマとして申請、全国 4 拠点の 1 つとして採択された。医工連携に関する地域のエコシステムを確立するために、このシステムを運営するとともに、AMED 国産医療機器創出促進基盤整備等事業も活用することで人材育成や機器開発をより推進し

ている。また、文部科学省地域科学技術実証拠点整備事業（H28～H29、施設費 7.5 億円、設備費 1 億円）に、浜松医科大学が中心となり申請した「はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点」整備事業が全国 22 件の 1 つとして採択され、学内に新拠点棟を設置した。これにより、産学連携、医工連携による機器開発が益々盛んになることが期待できる。

一方、レーザー関連装置（レーザー加工装置、顕微鏡）も、成長が期待できる医療・健康分野へ新たに進出を目指す輸送用機器製造業を中心とする地域の中小企業に活用されている。一層の活用を促進するため、装置を設置している浜松工業技術支援センターでは、企業からの技術相談に対応し指導などを行った。また、光産業創成大学院大学では、各種イベントや企業との連携の中において、医療、健康分野への応用提案や、各種案件に対して試験や事業化支援を行った。ここで、進展のあった企業に対して、当拠点事業のスタートアップ支援事業への申請（1 件）や、医師とのマッチングによる装置製作・販売（2 件）、大型事業への申請（1 件）へとつなげた。

上記の活動に関連し、例年に引き続き企業内において医療・健康分野に光技術を活用できる人材を育成していただくため、光産業創成大学院大学と浜松工業技術支援センターが実施機関となり「レーザーによるものづくり中核人材育成講座」を開催した。現在、これまでの参加者企業の内 7 社とレーザーを用いた医療用部品製作技術の開発や、製作検討を進めている。

研究開発においては、光産創大が静岡県内企業や大学と共同で金属・セラミックのレーザーによる AM 技術（アデティブ・マニファクチャリング～3 次元造形技術）開発（1 社）、非熱的な生体のレーザー切断加工装置開発（1 社）、医療器具製造向けレーザー樹脂溶着・レーザー治療に向けた加熱端子開発（3 社）を進めている。浜松工業技術支援センターでは、従来の侵染法では染色が難しかったプラスチック素材（視力矯正用眼鏡レンズ）をレーザーで染色する装置のさらなる技術開発を進めている。また、浜松工業技術支援センターと光産創大が地元企業に協力して昨年製品化した「透明プラスチックのレーザーによるクリーンな溶着システム（ラバーテックス SV-120F）」を用いて医療器具製造のための応用技術を開発している。

1-2. 施設の活用

産学官連携推進部・サイクロトロン棟内に設置したレンタルラボ 2 室は、浜松ホトニクス(株)と(株)ゾディアックの地域企業 2 社がレンタルし活用している。浜松ホトニクス(株)は、浜松医科大学との共同開発成果である「新規 PET 装置」を、さらに改良開発しデータ取得を行うために活用し、(株)ゾディアックは文部科学省地域イノベーション・エコシステム形成プログラムにおける立体内視鏡開発、また AMED 医療機器開発推進研究事業における低侵襲内視鏡および顕微鏡手術支援 3D 超音波診断装置の開発を推進するために活用している。

産学官連携推進部・PET-CT 棟 2F 会議室では、隔月 1 回開催される拠点運営会議ワーキングの会議、月 1 回開催される拠点事務局会議を開催し活用した他、産学官連携の打ち合わせ、施設訪問団体への説明などに活発に活用している。

1-3. 対外的活動

1-3-1. セミナー・講習会等の開催

当報告書の「7. 普及活動」に記したように、地域企業を対象とした健康医療産業への参入セミナー（医療機器開発・研究倫理・臨床研究に関する研修セミナー計 7 回）、現場医師との情報交換会（2 回）、医療現場での意見交換（合計 6 回）等を実施し、浜松商工会議所医工連携研究会（約

100社)と強気に連携しながら、本拠点の有する設備の紹介や医療現場でのニーズの発掘を行った。また、年1回の拠点の中心的イベントである「メディカルイノベーションフォーラム2018」を平成30年12月5日に浜松市で開催し(企業46社、計105名参加)、基調講演「ニッチトップになるために知財を活用する方法論」(演者:鮫島 正洋 弁護士法人 内田・鮫島法律事務所 代表、パートナー 弁護士・弁理士)を行った。講演後には、質疑応答および意見交換として参加者からの質問が多くなされ、盛況のうちに閉会した。

1-3-2. 事業実施

○信州・浜松拠点間交流会議2018

毎年交互に訪問しあって開催している拠点間交流会議を、10月1日~2日、ホテルブエナビスタで開催予定であったが、直撃した台風の影響で開催が不可能となり延期することとなった。

2019年度は松本で開催予定である。

○医工連携スタートアップ支援事業

【公益財団法人静岡県産業振興財団 平成30年度新成長産業戦略的育成事業】

浜松医科大学が中心となり「はままつ医工連携拠点」が(公財)静岡県産業振興財団・新成長産業戦略的育成事業に応募して資金を獲得し、医療や介護の現場の課題やニーズを解決する新しい医工連携プロジェクトを推進するために、「アイデアの実現性の検証」を行う支援事業を平成24年度から毎年行っている。平成30年度は、50万円/件を5件採択した。

平成30年度採択課題

- ① S社: 嚙下障害者向けリハビリチェアの開発
- ② P社: ホワイトボード型ジグソーパズル
- ③ H社: 手根管症候群に対する神経除圧術の低侵襲化と安全性向上を目的とした機器開発
- ④ S社: 医療・福祉用衣服および繊維雑貨への抗菌・抗ウィルスプリント加工
- ⑤ I社: チャットボットを活用した病院待ち時間短縮のためのAI問診サービスおよび健康食品レコメンドサービス ⇒「問診票アプリの開発」に変更

この事業では、これまで計37件の開発案件を支援し、その後のフォローアップを行うことにより、開発が継続され、約30%が他の公的資金を獲得している。また、製品化5件を達成している。この事業は、企業の持つシーズ発掘にもつながっている。平成30年度の採択課題も、今後より大きな公的資金獲得に向けて、更に支援を継続する予定である。

○医工連携出会いのサロン

【公益財団法人静岡県産業振興財団 平成30年度新成長産業戦略的育成事業】

浜松医科大学が中心となり「はままつ医工連携拠点」が(公財)静岡県産業振興財団・新成長産業戦略的育成事業に応募して資金を獲得し、平成25年から毎年実施している事業である。非医療機器メーカーが、医療系学会に展示することは困難であるため、展示ブースを「はままつ医工連携拠点」が買い取るにより、取りまとめて企業展示を行ってきた。また、医療機器関連の展示イベントを開催しても実際に利用する現場の医師は多忙であり、イベント会場を訪れることはほとんどない。そこで、全国の医師が集まる医学系の学会に附設する形で、静岡県内で開発された商品を紹

介する展示会を開催し、商品 PR をするとともに、現場医師から商品に対する評価や意見などを直接聴取する機会を提供すると共に、ブースツアー（他の医療機器メーカーの展示ブースを訪問し、紹介するツアー）や橋渡し（面談）の場を提供してきた。

平成 30 年度は「第 26 回日本腰痛学会（平成 30 年 10 月 26 日～27 日）アクトシティ浜松コンgresセンター」に 5 社が出展した。

同時に、拠点の周知活動を推進するために、はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点の活動展示を行った。静岡県内で開発された商品を紹介し、商品 PR をするとともに、現場の医師や研究者から商品に対する評価や意見などを直接聴取する機会となった。

平成 30 年度出展企業

- ・株式会社システム・ジェーピー
- ・ショーダテクトロン株式会社
- ・株式会社オノックスエムティーティー
- ・株式会社アメリオ
- ・協同組合 SP メディカルクラスター

OMEDTEC Japan 2018 出展

平成 30 年 4 月 18 日～20 日に開催された医療機器の設計・製造に関するアジア最大の展示会 MEDTEC Japan 2018（東京ビッグサイト）において、（公財）静岡県産業振興財団が取りまとめた静岡県ブースに、はままつ医工連携拠点及び浜松医科大学、浜松医工連携研究会の周知目的のブースの他、静岡県西部より 4 社が出展した。来場者は 3 日間合計 31,062 名（主催者発表）であった。

訪問者の団体（団体代表者）からは、いずれも浜松地域の取組において「どのようにして産学官の複数の団体がうまく連携して事業を展開できているのか」という点についての質問が多かった。はままつ医工連携拠点は閉じた団体ではなく、むしろ開かれたクラウドのような組織で、それぞれのプレーヤーが自分の組織に所属したまま医工連携拠点の活動をし、その成果を所属する団体と医工連携拠点が共有（どとらも成果として公表）することが良いのではないかと考えている旨を説明すると、そのような取組が我が国にはあまりなく、珍しいとの意見を頂くことが多かった。今後も引き続きこの利点を活かして、医工連携拠点事業を推進して行くのが良いと思われた。

西部地区出展企業

- ・株式会社親和製作所
- ・オーム電機株式会社
- ・沢根スプリング株式会社
- ・協同組合 HAMING

OMEDTEC Japan 2019 出展

2020 年開催の東京オリンピックの会場利用の影響で本来は次年度開催予定のイベントが早まり、平成 31 年 3 月 18 日～20 日に開催の MEDTEC Japan 2019 において、（公財）静岡県産業振興財団が取りまとめた静岡県ブースに、はままつ医工連携拠点および浜松医科大学、浜松医工連携研究会の周知目的のブースのほか、静岡県西部地区より 4 社が出展した。

同年度内に 2 回開催された為、自治体、支援機関等の出展が減少したようである。

出展企業数、523社、来場者数は25,407名（主催者発表）であった。

西部地区出展企業

- ・株式会社エヌエー
- ・仲山貴金属鍍金株式会社
- ・協同組合HAMING
- ・パルステック工業株式会社

○その他のイベント出展等

ビジネスマッチングはままつ2018（浜松、7月）、イノベーション・ジャパン2018～大学見本市&ビジネスマッチング～（東京、8月）、第12回しんきんビジネスマッチング ビジネスフェア2018（名古屋、10月）、メディカルクリエーションふくしま2018（福島、10月）、メディカルメッセ2018（名古屋、10月）、おおた研究・開発フェア（東京、10月）、にブースを出展し、はままつ医工連携拠点が行っている取組みを紹介し、参加企業や人材との意見交換、情報交換を図り、国内の医工連携関係機関等から医療機器に関する開発要求事項を収集した。

○大型イメージング装置のデモンストレーション

PET、MRI、CTなど、研究用大型イメージング装置を、地域（学外）の大学、研究所、企業に活用してもらうために、拠点で準備した対象物や持ち込みサンプルを撮像し、デモンストレーションやトライアルユースを行った（3回実施した）。また、企業の技術相談に対応し、研究開発に必要な3次元データ取得に関して検討し助言した。

2. 活動実績のまとめ

	座学	臨床見学（講義含む）	合計
講習会・研修会等数	17	6	23

	企業数	参加者数
参加人数	287	806

	参加者数
臨床現場見学者数	37

	医療機関との連携数	企業との連携による製品化数
他の機関との連携数	4	2

	相談回数	相談時間	収集ニーズ数
医療機器に関する相談数	97	120	97

	氏名	所属	種別（医師、看護師、ME、企業OB等）
講習について（講師）	夏目 貴弘	浜松医科大学	技師
	菘島 伸生	浜松医科大学	教授
	山本 清二	浜松医科大学	医師
	松山 幸弘	浜松医科大学	教授
	竹内 裕也	浜松医科大学	教授
	神谷 正貴	浜松医科大学	部長
	荻生 久夫	OGYメディカルデバイスソリューション（株）	企業
	平野 恵子	経済産業省	公務員
	平垣 徳之	協同組合SPメディカルクラスター	企業
	鮫島 正洋	弁護士法人内田・鮫島法律事務所	弁護士
	伊東 宏晃	浜松医科大学	教授
	五十嵐 寛	浜松医科大学	特任教授
	深水 秀一	浜松医科大学	病院教授

3. 運営委員会等 会議開催状況

会議名称	開催日時	参加者	概要
事業運営委員会			
第1回事業運営委員会	平成30年5月24日 14時～16時	27名	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度事業報告、収支決算書 平成30年度会計監査報告 平成30年度新成長産業戦略的育成事業他
第2回事業運営委員会	平成31年3月26日 10時～12時	22名	<ul style="list-style-type: none"> 平成31年度事業計画案について 平成31年度予算案について
ワーキング会議			
第60回ワーキング会議	平成30年4月25日 10時～12時	20名	<ul style="list-style-type: none"> 平成31年度拠点事業の各機関の担当者について 平成30年度活動実績報告書、決算書 他
第61回ワーキング会議	平成30年6月12日 10時～12時	21名	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度監査報告について 信州との拠点間交流について 他
第62回ワーキング会議	平成30年9月18日 10時～12時	15名	<ul style="list-style-type: none"> スタートアップ支援事業審査会について 平成30年度出合いのサロンについて 他
第63回ワーキング会議	平成30年11月13日 10時～12時	16名	<ul style="list-style-type: none"> スタートアップ支援事業フォローについて セミナーアンケート結果 他
第64回ワーキング会議	平成31年1月22日 13時～15時	17名	<ul style="list-style-type: none"> メディカルイノベーションフォーラムについて セミナーアンケート結果 他
第65回ワーキング会議	平成31年3月13日 13時～15時	21名	<ul style="list-style-type: none"> 医療現場見学会について スタートアップ支援事業成果報告会について

*拠点内事務局ミーティングは1～2回／月にて随時開催した。

4. 外部資金獲得状況

共同研究 9 件

研究者所属機関	役職	研究者名	共同研究先	研究期間
光産業創成大学院大学	准教授	沖原伸一郎	企業（浜松市）	平成30年4月～令和3年3月
浜松医科大学 リハビリテーション部	教授	山内克哉	企業（静岡市）	平成29年5月10日～平成31年3月31日
浜松医科大学 整形外科	准教授	星野裕信	企業（浜松市）	平成30年9月27日～平成31年3月31日
浜松医科大学 整形外科	准教授	星野裕信	企業（浜松市）	平成30年9月27日～平成31年2月28日
浜松医科大学	教授	間賀田泰寛	企業（浜松市）	平成28年7月～現在
浜松医科大学 リハビリテーション部	教授	山内克哉	企業（浜松市）	平成28年7月19日～平成32年3月31日
浜松医科大学 産婦人科学	副学長	金山尚裕	企業（浜松市）	平成29年11月28日～平成32年3月31日
浜松医科大学	教授	蓑島伸生	企業（県外）	平成30年～平成31年
浜松浜松医科大学	理事	山本清二	企業（浜松市）	平成29年～平成31年

受託研究 2 件

事業名 (委託機関等)	課題名・プロジェクト名	受託機関	役職	研究者名	研究期間
中部先端医療開発 円環コンソーシアム 連携プロジェクト	治療標的としての脳内ニコチン受容体 $\alpha 7$ サブタイプ新規イメージングプローブの開発研究	浜松医科大学	教授	間賀田泰寛	平成30年～平成31年
橋渡し研究加速 ネットワークプログラム (AMED)	加齢黄斑変性の新規責任遺伝子PANK4を標的とした化合物の探索：治療薬開発を目指した化合物評価システムの基盤構築	浜松医科大学	教授	蓑島伸生	

5. 研究成果
論文発表 2 件

論文名	掲載誌名等	掲載日・ 発表日等	研究者 所属機関	役職	研究先名
Astrocytes Protect Neurons in the Hippocampal CA3 Against Ischemia by Suppressing the Intracellular Ca ²⁺ Overload.	Front. Cell. Neurosci	12:280 (2018). doi: 10.3389/fncel.2018.00280	浜松医科大学	理事	山本清二
Distinguishing analgesic drugs from non-analgesic drugs based on brain activation in macaques with oxaliplatin-induced neuropathic pain.	Neuropharmacology.	2019 May 1;149:204-211	浜松医科大学	教授	間賀田泰寛

特許等出願件数 2 件

発明等の名称	出願日	出願番号	出願人	発明者
放射線治療用マウスピースおよび頭部固定装置	平成30年6月19日	特願2018-115875	浜松医科大学 企業（浜松）	中村 和正 他
隆鏡	平成30年10月2日	特願2018-187204	浜松医科大学 企業（浜松市）	金山 尚裕 他

6. 実用化実績
製品化実績 2 件

研究者名	商品名	販売開始年月日	販売元企業名	商品情報 (URL等)	備考
DGSHAPE株式会社 浜松医科大学	エルテミス	平成30年11月15日	DGSHAPE 株式会社	https://www.dgshape.com/ja/product/eirthemis	
永島医科器械株式会社 浜松医科大学	赤外線眼振画像記録装置IR-3	平成30年8月1日	永島医科器械 株式会社		製造販売届出番号 13B1X00138030398

起業化実績 0 件

企業名	立地等年月日	立地場所	従業員数（立地場所）	企業情報（事業内容・URL等）

企業誘致・立地実績 0 件

企業名	代表者名	設立何月日	企業情報（事業内容・URL等）

7. 普及活動

成果発表会・講演会・セミナー等イベント（人材育成関連は除く）			
セミナー「共同研究・研究倫理セミナー」 場所：アクトシティ浜松コンgresセンター 講師：浜松医科大学 理事（教育・産学連携担当）・副学長山本清二 浜松医科大学 副学長（研究担当） 光先端医学教育研究センター長・フォトリクス医学研究部教授 簗島 伸生□	平成30年6月27日	27社、他1 計49名	対象者：企業。研究者、コーディネータ
医療・介護現場との情報交換会① （浜松医科大学の医師から製品開発ヒントを得る） 場所：プレスタワー7階 静岡新聞ミーティングルーム テーマと講師： 1. 外科学第二講座（消化器・血管外科学分野）からの現場及び業務の紹介 浜松医科大学医学部 外科学第二講座 教授 竹内 裕也先生 2. 整形外科学講座からの現場及び業務の紹介 浜松医科大学医学部 整形外科学講座 教授 松山 幸弘先生 3. 放射線部からの現場及び業務の紹介 浜松医科大学医学部附属病院 放射線部 診察放射線技師長 神谷 正貴先生	平成30年7月24日	37社 計61名	対象者：企業。研究者、コーディネータ
医療・介護現場見学会 ①整形外科学講座 浜松医科大学医学部 整形外科学講座 教授 松山 幸弘先生	平成30年8月21日	5社、計7名	対象者：企業。研究者、コーディネータ
医療・介護現場見学会 ②外科学第二講座 浜松医科大学医学部 外科学第二講座 教授 竹内 裕也先生	平成30年8月21日	4社、計6名	対象者：企業。研究者、コーディネータ
医療・介護現場見学会 ③+B7:E14放射線部 浜松医科大学医学部附属病院 放射線部 診療放射線技師長 神谷 正貴先生	平成30年8月21日	2社、計4名	対象者：企業。研究者、コーディネータ

<p>セミナー「浜松医科大学で共同利用できるMRI/CTのご紹介」 場所：浜松医科大学 臨床講義棟 小講義室 講師：浜松医科大学光先端医学教育研究センター 産学官連携推進部 特任研究員 夏目貴弘（技師） □</p>	平成30年9月21日	8社, 計24名	対象者：企業。研究者、コーディネータ
<p>メディカルイノベーションフォーラム2018 場所：ホテルクラウンパレス浜松 基調講演：鮫島 正洋氏 「ニッチトップになるために知財を活用する方法論」 講師：弁護士法人 内田・鮫島法律事務所 代表、パートナー 弁護士・弁理士</p>	平成30年12月5日	46社、計105名	対象者：企業。研究者、コーディネータ
<p>健康医療関連市場参入セミナー “つながる” から創り出す”ものづくり” 「Connected Industries～”つながる”による価値創出～」 医工連携の事例から 場所：ホテルクラウンパレス浜松 3階松の間 テーマと講師： 1. 「Connected Industries&Medical Network～”つながる”による医工連携～」 経済産業省 商務情報政策局 商務・サービスグループ 医療・福祉機器産業室 室長補佐 平野恵子 氏 2. 「”つながる”先にある価値の創出～医療産業の事例から～」 協同組合SPメディカルクラスター代表理事 平垣徳之 氏</p>	平成30年12月13日	26社, 計33名	対象者：企業。研究者、コーディネータ
<p>医療・介護現場との情報交換会②（浜松医科大学の医師から製品開発ヒントを得る） 場所：ホテルクラウンパレス浜松 テーマと講師： 1. 産婦人科学講座からの現場及び業務の紹介 浜松医科大学医学部 産婦人科学講座 教授 伊東 宏晃先生 2. 臨床医学教育講座からの現場及び業務の紹介 浜松医科大学医学部 臨床医学教育学講座 特任教授 五十嵐 寛先生 3. 形成外科からの現場及び業務紹介 浜松医科大学医学部附属病院 病院教授 深水 秀一 先生</p>	平成31年2月27日	34社, 計48名	対象者：企業、研究者 コーディネータ
<p>医療・介護現場見学会 ①産婦人科学講座 浜松医科大学医学部 産婦人科学講座 教授 伊東 宏晃先生</p>	平成31年3月12日	6社, 計8名	対象者：企業、研究者 コーディネータ
<p>医療・介護現場見学会 ②形成外科 浜松医科大学医学部附属病院 病院教授 深水 秀一 先生</p>	平成31年3月12日	4社, 計6名	対象者：企業。研究者、 コーディネータ
<p>医療・介護現場見学会 ③臨床医学教育学講座（シミュレーションセンター） 浜松医科大学医学部 臨床医学教育学講座 特任教授 五十嵐 寛先生</p>	平成31年3月12日	4社, 計6名	対象者：企業。研究者、 コーディネータ

8. 人材育成

人材育成関連（講習会・研修会等）			
会議名称	開催日時	参加者	概要
「レーザー中核人材育成講座と実習」	講座(21日間)： 6月27日～12月1日内実 習(3日間)： 9月27,28日、 10月4,5日、 10月18,19日	講座 37名 (実習 24名)	対象者：ものづくり企業等 概要：整備機器を 活用した機器開発のできる人材を育成するレー ザー講座と実習 (浜工技センター開催)
薬機法入門編セミナー「薬機法の概要」 場所：アクトシティ浜松研修交流センター 講師：OGYメディカルデバイスソリューションズ株式会社 代表取締役 荻生 久夫 氏	平成30年 9月14日	19社 計35名	対象者：企業、研究者、コーディネータ
医療機器分野参入セミナー1「医療機器分野参入方法について」 場所：アクトシティ浜松研修交流センター 講師：OGYメディカルデバイスソリューションズ株式会社 代表取締役 荻生 久夫 氏	平成30年 10月12日	16社 計23名	対象者：企業、研究者、コーディネータ
薬機法実践編セミナー1「品質マネジメントシステム構築について」 場所：アクトシティ浜松研修交流センター 講師：OGYメディカルデバイスソリューションズ株式会社 代表取締役 荻生 久夫 氏	平成30年 11月16日	19社 計31名	対象者：企業、研究者、コーディネータ
プラスチック成形加工学会成形加工シンポジア'18	11月26日	約100名	レーザーを用いたプラスチッ ク眼鏡レンズの染色
プラスチック成形加 工学会成形加工シンポジア'18	11月26日	約100名	透明樹脂同士のレーザー溶着
プラスチック成形加工学会成形加工シンポジア'18	11月26日	約100名	透過波面計測による透明プラ スチック製品の品質評価
医療機器分野参入セミナー2「リスクマネジメントについ て」 場所：アクトシティ浜松研修交流センター 講師：OGYメディカルデバイスソリューションズ株式会社 代表取締役 荻生 久夫 氏	平成30年 12月14日	16社 計27名	対象者：企業、研究者、コーディネータ
薬機法実践編セミナー2 「医療機器認証申請の申請書作成のポイントとノウハウの紹 介」 場所：アクトシティ浜松研修交流センター 講師：OGYメディカルデバイスソリューションズ株式会社 代表取締役 荻生 久夫 氏	平成31年 2月15日	14社 計16名	対象者：企業、コーディネータ

9. 取材・報道状況

新聞・雑誌新聞18件		
静大・浜医大 再編へ協議会設置	平成30年6月28日	静岡新聞
静大・浜医大 再編へ協議会設置	平成30年6月28日	中日新聞
静岡市で 11月に日米イノベーションフォーラム開催	平成30年7月7日	日本経済新聞
静大と浜医大との連携協議会開催	平成30年10月27日	中日新聞
大学研究者（フォトンバレーセンター）が中小企業支援	平成30年11月6日	静岡新聞
日米医療機器イノベーションフォーラム静岡開催について	平成30年11月7日	日本経済新聞
透明プラスチック レザーで溶着	平成30年11月20日	中日新聞
メディカルイノベーションフォーラム開催	平成30年12月7日	中日新聞
医療奨励賞 授与式開催について	平成31年1月19日	静岡新聞
大学入試センター試験 志願者数減	平成31年1月19日	中日新聞
静大・浜医大 法人統合、大学再編 両学長が合意書を締結	平成31年3月29日	静岡新聞
静大・浜医大 法人統合、大学再編 両学長が合意書を締結	平成31年3月30日	静岡新聞
静大・浜医大 法人統合、大学再編 両学長が合意書を締結	平成31年3月30日	読売新聞
静大・浜医大 法人統合、大学再編 両学長が合意書を締結	平成31年3月30日	中日新聞
静大・浜医大 法人統合、大学再編 両学長が合意書を締結	平成31年3月30日	朝日新聞
静大・浜医大 法人統合、大学再編 両学長が合意書を締結	平成31年3月30日	毎日新聞
静大・浜医大 統合合意 課題残る	平成31年3月30日	静岡新聞
静大・浜医大 統合合意 静大は賛否拮抗	平成31年3月30日	中日新聞

視察受入・来訪 97件

面談	平成30年4月6日	T氏
技術相談	平成30年4月11日	K社
面談	平成30年4月13日	T氏
面談	平成30年5月15日	イノベエコ会議
技術相談	平成30年5月18日	企業Z社
技術相談	平成30年5月29日	企業N社 A社
技術相談	平成30年5月29日	企業K社
面談	平成30年5月30日	浜松工業技術支援センター
面談	平成30年6月4日	JST社
面談	平成30年6月5日	イノベエコ会議
技術相談	平成30年6月5日	企業Y社
面談	平成30年6月19日	中部経済産業局
面談	平成30年6月19日	T氏
面談	平成30年6月21日	Y氏
技術相談	平成30年6月25日	浜松市
面談	平成30年6月26日	企業N社

面談	平成30年6月26日	浜松市
面談	平成30年6月29日	企業T社
面談	平成30年7月2日	I氏
技術相談	平成30年7月2日	H氏
面談	平成30年7月3日	企業S社
面談	平成30年7月5日	企業F社
技術相談	平成30年7月13日	H氏
技術相談	平成30年7月17日	企業H社
面談	平成30年7月18日	A氏
技術相談	平成30年7月25日	企業H社
面談	平成30年7月26日	M氏
面談	平成30年7月27日	K氏
技術相談	平成30年8月1日	企業T社
技術相談	平成30年8月2日	企業K社
面談	平成30年8月3日	企業A社
面談	平成30年8月3日	AMED
面談	平成30年8月9日	浜松市・科学館
面談	平成30年8月10日	浜松商工会議所
面談	平成30年8月24日	企業N社
面談	平成30年8月24日	K氏
面談	平成30年8月27日	フotonバレーセンター
技術相談	平成30年8月29日	企業H社
面談	平成30年9月7日	企業I社
面談	平成30年9月7日	企業T社
面談	平成30年9月12日	JST社
面談	平成30年9月13日	AMED
面談	平成30年9月19日	企業H社
面談	平成30年9月19日	企業A社
面談	平成30年9月21日	浜松地域イノベーション推進機構
面談	平成30年9月25日	企業P社
面談	平成30年9月25日	企業G社・静岡大学
面談	平成30年9月26日	企業K社
面談	平成30年9月26日	企業A社
技術相談	平成30年10月9日	企業N社
技術相談	平成30年10月12日	企業Z社
技術相談	平成30年10月15日	企業D社
技術相談	平成30年10月16日	企業T社
技術相談	平成30年10月19日	企業T社
面談	平成30年10月25日	企業T社
技術相談	平成30年10月25日	企業C社
技術相談	平成30年10月26日	企業T社
面談	平成30年10月31日	企業L社

技術相談	平成30年11月2日	企業Z社
面談	平成30年11月6日	企業D社
面談	平成30年11月8日	企業A社
面談	平成30年11月8日	企業H社
技術相談	平成30年11月22日	企業T社
技術相談	平成30年11月26日	企業F社
技術相談	平成30年11月27日	企業S社
技術相談	平成30年11月30日	企業Z社
技術相談	平成30年12月4日	企業A社
技術相談	平成30年12月4日	企業A社
面談	平成30年12月6日	O氏
面談	平成30年12月7日	聖隷クリストファー大学
面談	平成30年12月10日	企業K社
面談	平成30年12月17日	早稲田大学
面談	平成30年12月19日	企業R社
面談	平成30年12月20日	企業K社
面談	平成30年12月21日	企業S社
技術相談	平成31年1月7日	企業F社
技術相談	平成31年1月9日	企業L社
技術相談	平成31年1月10日	企業A社
技術相談	平成31年1月15日	企業R社
技術相談	平成31年1月24日	企業A社
面談	平成31年1月29日	H氏
面談	平成31年1月29日	浜松地域イノベーション推進機構
面談	平成31年2月7日	企業F社
面談	平成31年2月14日	企業L社
面談	平成31年2月22日	企業N社
面談	平成31年2月26日	企業A社
面談	平成31年3月1日	企業I社
技術相談	平成31年3月6日	企業N社
面談	平成31年3月11日	文科省イノベエコ関係
面談	平成31年3月12日	企業N社
面談	平成31年3月13日	企業N社
面談	平成31年3月13日	企業S社
面談	平成31年3月15日	浜松地域イノベーション推進機構
技術相談	平成31年3月15日	企業A社
面談	平成31年3月19日	企業T社
面談	平成31年3月22日	企業H社
技術相談	平成31年3月23日	企業N社

10. 他拠点との連携等

- ・信州拠点間交流会議2018 in Matsumoto

平成31年10月1日～10月2日の日程で開催予定であったが、台風の直撃により中止となった。2019年度に松本で開催予定。

11. その他（拠点運営費による出張業務）

○三浦拠点長出張業務

	日付	内容	出張先	出張目的
1	平成30年 4月20日	MEDTEC Japan 2018において出展支援及び視察	東京ビックサイト 東京都江東区	広報活動
2	平成30年 8月31日	イノベーションジャパン2018 視察、及び情報収集	東京ビックサイト 東京都江東区	事業化活動
3	平成30年 10月12日	国際福祉機器展 視察、及び情報収集	東京ビックサイト 東京都江東区	事業化活動
4	平成30年 10月18日～ 10月19日	メディカルクリエーションふくしまにおいて出展支援、 及び情報収集	ビックパレットふくしま 福島県郡山市	広報活動
5	平成30年 10月25日	おおた研究開発フェアにおいて出展支援、情報収集	大田区産業プラザ 東京都大田区	広報活動
6	平成30年 11月7日	日米医療機器イノベーションフォーラム静岡に参加	グランシップ静岡 静岡県駿河区	広報活動
7	平成31年 1月16日	ウェアラブルEXPO 視察	東京ビックサイト 東京都江東区	事業化活動
8	平成31年 3月18日	MEDTEC Japan 2019において出展支援	東京ビックサイト 東京都江東区	広報活動

○松浦事業総括出張業務

	日付	出張目的	出張先	出張目的
1	平成30年 4月12日	静岡県製薬協会定期総会に出席	クーポール会館静岡 静岡県静岡市葵区	事業化活動
2	平成30年 4月18日	MEDTEC Japan 2018において出展支援、及び視察	東京ビックサイト 東京都江東区	広報活動
3	平成30年 6月1日	メディカルショージャパン 視察、情報収集	パシフィコ横浜 横浜市中区	事業化活動
4	平成30年 6月11日	日米医療機器イノベーションフォーラム実行委員会に出 席	静岡県庁 静岡県静岡市葵区	事業化活動
5	平成30年 6月22日	医療機器開発支援ネットワークへの事業相談	三菱総研研究所 東京都千代田区	事業化活動

6	平成30年 10月11日	国際福祉機器展2018 視察、情報収集	東京ビックサイト 東京都江東区	事業化活動
7	平成30年 10月22日	日米医療機器イノベーションフォーラム実行委員会に出席	静岡県庁 静岡県静岡市葵区	事業化活動
8	平成30年 10月26日	NEXT医療機器開発シンポジウム 視察、情報収集	大手町フィナンシャル シティ東京都千代田区	事業化活動
9	平成30年 11月7日	日米医療機器イノベーションフォーラムに実行委員として参加	グランシップ静岡 静岡県駿河区	事業化活動
10	平成30年 11月28日	浙江省 健康産業ビジネスフォーラムに出席	ホテルセンチュリー静岡 静岡県駿河区	広報活動
11	平成31年 1月17日	ウェアラブルEXPO展、ロボティクス展 視察、情報収集	東京ビックサイト 東京都江東区	事業化活動
12	平成31年 2月4日	全国医療機器開発会議に出席	新霞が関ビル 東京都千代田区	事業化活動
13	平成31年 2月14日	リスクマネジメントセミナーに参加	ホテルメルパルク東京 東京都港区	事業化活動
14	平成31年 3月18日	MEDTEC Japan 2019において出展支援、及び周知活動	新霞が関ビル 東京都千代田区	事業化活動
15	平成31年 3月20日	日米医療機器イノベーションフォーラム実行委員会に出席	静岡県庁 静岡県静岡市葵区	事業化活動

○山本研究総括出張業務

	日付	出張目的	出張先	出張目的
1	平成30年 4月24日	2018年度静岡ものづくり未来応援団総会・講演会に出席	ツインメッセ静岡 静岡県駿河区	事業化活動
2	平成30年 11月7日	日米医療機器イノベーションフォーラムにおいて出展支援	グランシップ静岡 静岡県駿河区	広報活動